

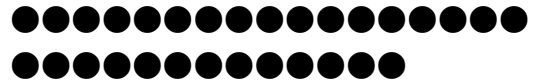
陳 情 文 書 表 (令和5年2月28日定例会提出)

陳情第35号

安倍晋三元首相の慰霊碑を設置していただくための陳情

令和5年1月18日受理

陳情者



沖縄県を守る党

眞喜志 雄 一

(理由・背景)

令和4年10月4日、奈良市長の仲川げん市長は、安倍晋三元首相の銃撃事件に関する慰霊碑を設置しないと発表しました。事件現場はもともと車道として整備する計画だったので、奈良市長としては市民のことを考え、当然の判断だと思います。

しかし、今回の安倍元首相の銃撃事件は世界的にも衝撃を与え、「安倍元総理の慰霊碑建立再検討のため、大和西大寺駅北口の道路整備を一旦中止してください」というネット署名には、現時点で3万人超えの署名が集まっています。憲政史上最長の長期政権を維持し、多くの国民から支持を得ていた安倍元総理です。これだけの署名が集まっているのに、慰霊碑を設置しないことを奈良市だけで決めていいのでしょうか。政治的信条に関係なく、日本のために尽力した安倍元首相に国民が弔意を示すためにも、慰霊碑の設置は必要だと思います。

ついては、下記事項につき配慮してもらいたい。

記

(願意・要望)

1. 大和西大寺駅北口の道路整備を中止し、安倍元首相の慰霊碑を設置していただきたい。
2. 道路整備中止が難しければ、なるべく現場近くに慰霊碑を設置していただきたい。